

はじめに

このたびは、(株)デジタル製 FIX for Windows® 95 & NT® RES(Ethernet) I/O ドライバ (MIE) をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

I/O ドライバは、インテルーション(株)の FIX32、iFIX または FIX-FA (これより「FIX」と称します) と三菱電機(株)製 MELSEC-A、MELSEC-QnA シリーズの通信をイーサネットで行います。

ご使用にあたっては、本書をよくお読みいただき、本機の正しい取り扱い方法と機能を十分にご理解いただきますようお願いいたします。

お断り

- (1) 本製品および本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- (2) 本製品および本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- (3) 本製品および本書の内容に関しては、万全を期して作成いたしました。が、万一誤りや記載もれなど、ご不審な点がございましたらご連絡ください。
- (4) 本製品を運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

本書に記載の商品名や製品は、それぞれの所有者の商標です。

もくじ

はじめに	
もくじ	2
梱包内容	3
使用上の注意	4
マニュアル表記上の注意	4
インストール	5
パソコン環境設定例	6

1 接続可能なPLC

1 接続可能なPLC	7
1 PLCのイーサネットユニット環境設定	7
2 デバイス範囲	8

2 システム構成図

1 システム構成図	1 0
1 用意する製品	1 1

3 チャンネル・デバイス・ポールレコードの関係

1 チャンネル・デバイス・ポールレコードの関係	1 2
-------------------------	-----

4 初期設定

1 初期画面	1 3
1 タグの設定	1 8
2 シグナルコンディション	1 9
3 通信仕様	2 0

5 異常処理

1 異常処理	2 1
1 トラブルシューティング	2 1

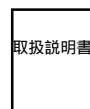
梱包内容

梱包箱には、以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。

FIX I/O ドライバ 1枚



本書 1冊



ユーザー様登録カード、ユーザー登録について 1枚



品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気づきの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

使用上の注意



このFIX (MIE) ドライバの使用上の注意を以下に示します。

- ・AJ71E71/A1SJ71E71/AJ71QE71が挿入されているスロットのX並びにYのデバイスの接点はドライバでアクセスしないでください。誤動作する可能性があります。
- ・PLCラダープログラムでAJ71E71/A1SJ71E71/AJ71QE71のユニットバッファへMOVするためのテンポラリに使用しているDデバイスのエリアにはアクセスしないでください。誤動作する可能性があります。
- ・FIX MIEドライバと通信を行う前にAJ71E71/A1SJ71E71/AJ71QE71を初期化、TCPオープン要求するラダープログラムがPLC側に必要となります。
- ・PLシリーズのオプションであるイーサネットボードにはODIドライバのみ付属されています。
- ・バージョン5.3のデータを再利用される場合はボールレコード定義ファイル "Node名.MIE" をCSVにセーブしてから、本ドライバで読み出してください。

ここで出てくる製品名の詳細は[参照 2-1](#)用意する製品

マニュアル表記上の注意

本書で使用している用語や記号等の意味は以下のとおりです。

	注意していただきたいことについての説明です。
PLC	プログラマブル・ロジック・コントローラ(別名シーケンサ)を指します。
*1	脚注で説明している語句についています。
	使用するに際して、ポイントとなる項目です。
参照	関連事項の参照文献を示します。

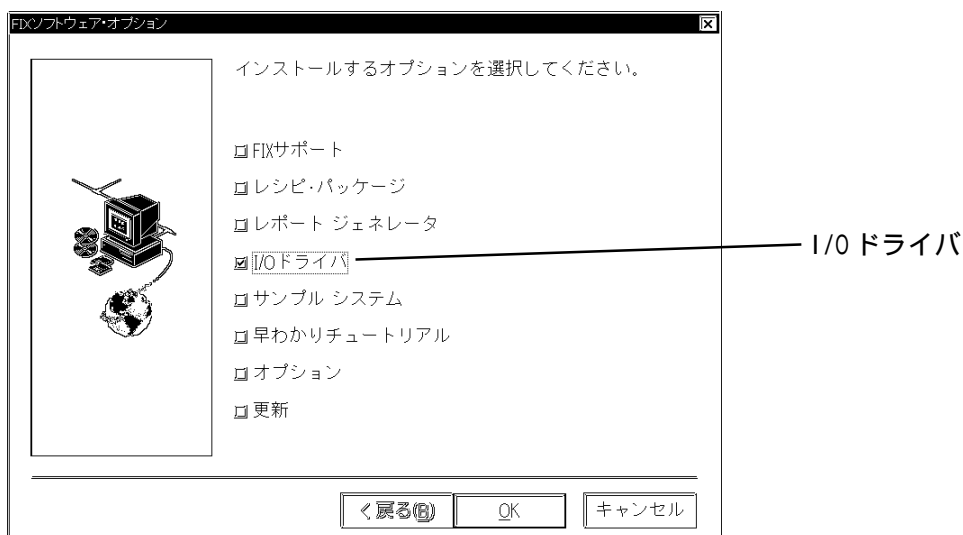
本書ではFIXをすでにインストールしていることを前提に説明しています。

インストール

FIX32、FIX-FA の場合

FIX32、FIX-FA の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。以下のウインドウが表示されますので、付属の MIE ドライバを FD ドライブにセットしてください。

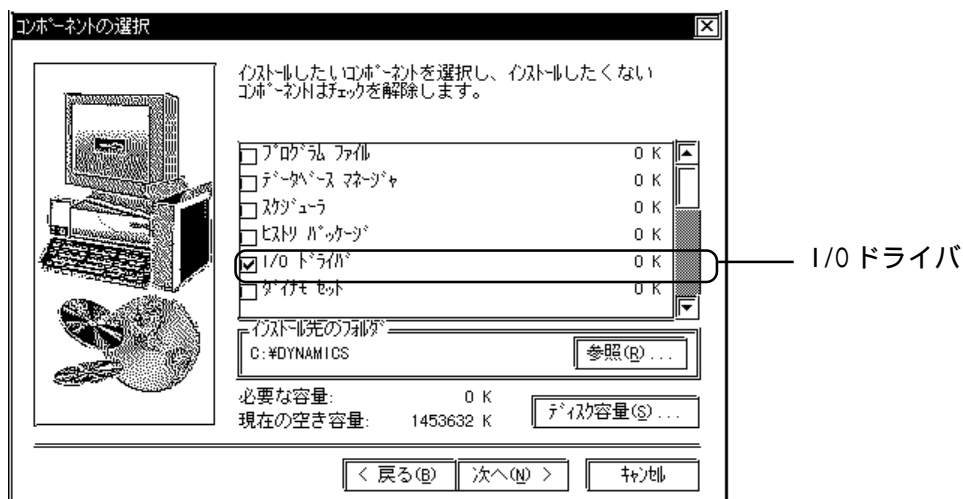
I/O ドライブを選択していることを確認して をクリックしてください。インストールを開始します。



iFIX の場合

iFIX の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。以下のウインドウが表示されますので、付属の MIE ドライバを FD ドライブにセットしてください。

I/O ドライブを選択していることを確認して をクリックしてください。インストールを開始します。



- ・「言語ディスクを挿入してください。」のウインドウが表示されますが、I/O ドライブのエラーメッセージファイルなどが、上書きされてしまいますので <スキップ> で処理をとばしてください。

詳細は、参照 FIX の取扱説明書

パソコンの環境設定例

(1) Windows[®]95 の場合

ボタンの「設定」から「コントロールパネル」を起動します。
「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
ネットワーク設定画面の「ネットワーク設定」からTCP/IPプロトコルの設定を行います。
「現在のネットワーク構成」にTCP/IPがない場合は ボタンより追加を行います。
「プロトコル」の追加を行うとネットワークプロトコルの選択画面が表示されますので、Microsoft[®] よりTCP/IPを選択追加を行って下さい。
TCP/IPをシングルクリックし ボタンを押すと「IPアドレス」「ゲートウェイ」等の詳細設定を行う画面が表示されますので、以下の設定を行って下さい。

IPアドレス : パソコン本体のIPアドレス
サブネットマスク : サブネットマスクを使用する場合は、マスク値を指定して下さい。
ゲートウェイ : ルータを使用する場合はルータのIPアドレスを指定して下さい。

その他の詳細設定についてはFIXのドライバを使用する上では必要ありません。

(2) Windows NT[®] の場合

「コントロールパネル」よりネットワーク設定を起動し、TCP/IPがない場合はソフトウェアの追加をクリックしてTCP/IPプロトコルおよび関連コンポーネントを選択して追加を行って下さい。

TCP/IPプロトコルをクリックして ボタンをクリックします。
Windows[®]95の場合と同様に「IPアドレス」「ゲートウェイ」「サブネットマスク」を設定します。

その他の詳細設定についてはFIXのドライバを使用する上では必要ありません。

1 接続可能な PLC

サポートするイーサネットユニットは以下のとおりです。

シリーズ名	対象システム	イーサネットユニット
MELSEC-AnN	A0J2, A0J2H, A1, A1N, A2(-S1), A2N(-S1), A3, A3N, A3H, A3M, A73	AJ71E71
MELSEC-AnA	A2A(-S1), A3A	
MELSEC-AnU	A2U(-S1), A3U, A4U	
MELSEC-AnUS	A2US(-S1)	A1SJ71E71
MELSEC-AnS	A1SCPU-C2, A1SCPU, A1SJCPU, A2SCPU	
MELSEC-QnA	Q2ACPU, Q2ACPU-S1, Q3ACPU, Q4ACPU	AJ71QE71
MELSEC-Q(Qモード)	Q02CPU, Q02HCPU, Q06HCPU, Q12HCPU, Q25HCPU	QJ71E71
MELSEC-Q(Aモード)	Q02CPU-A, Q02HCPU-A, Q06HCPU-A	A1SJ71E71

1-1 PLC のイーサネットユニットの環境設定

PLC側のイーサネットユニットの通信設定を示します。ユニットのマニュアルに従って設定してください。主な設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定可能値	
オープン要求 *1	Unpassiveオープン	Full passiveオープン
PLC局番号	0-63	
転送形式	バイナリコード形式	
プロトコル	TCP/IP	
自局ポート番号	0x400-0xFFFFE	
自局IPアドレス	イーサネットユニットに割り当てられたIPアドレス	
他局Ethernetアドレス	ARP有りとしてデフォルト値(0xFFFFFFFF)	
他局IPアドレス	0xFFFFFFFF	FIX稼働パソコンのIPアドレス
他局ポート番号	0xFFFF	Local primary Portに設定した値(0x400-0xFFFFE)

*1 オープン要求は、Unpassive オープンを推奨します。

1-2 デバイス範囲

デバイス(メモリアイプ)のアドレス範囲は以下のとおりです。

MELSEC-A シリーズ

メモリアイプ	アドレス範囲	Poll Record の Length設定範囲
X, Y	0 ~ 0xFFFFFFFF	1 ~ 256 (ビットアドレス)
B	0 ~ 0xFFFFFFFF	1 ~ 256 (ビットアドレス)
L, M, F	0 ~ 4294967295	1 ~ 256 (ビットアドレス)
W	0 ~ 0xFFFFFFFF	1 ~ 256 (ワードアドレス)
D	0 ~ 4294967295	1 ~ 256 (ワードアドレス)
TC, TS, CC, CS	0 ~ 4294967295	1 ~ 256 (ビットアドレス)
TN, CN	0 ~ 4294967295	1 ~ 256 (ワードアドレス)
R	0 ~ 4294967295	1 ~ 256 (ワードアドレス)
ER	0 ~ 4294967295	1 ~ 256 (ワードアドレス)



バージョン5.3のドライバとはアドレスの表記が違っていません。バージョン5.3のデータを利用される場合は、Ver.5.3 MODEをご利用ください。



上記のアドレスは通信コマンドで指定できる最大のアドレス範囲を示しています。Poll RecordのAddress設定はこの範囲内で行えますが、実際のアドレスは、ご使用のPLCで指定できる範囲となりますので、その範囲内で設定してください。

MELSEC-QnA シリーズ

メモリアイプ	アドレス範囲	Poll Record の Length設定範囲
SM	0 ~ 16777215	1 ~ 3584 (ビットアドレス)
SD	0 ~ 16777215	1 ~ 480 (ワードアドレス)
X, Y	0 ~ 0xFFFFFFFF	1 ~ 3584 (ビットアドレス)
M, L, F, V	0 ~ 16777215	1 ~ 3584 (ビットアドレス)
B	0 ~ 0xFFFFFFFF	1 ~ 3584 (ビットアドレス)
D	0 ~ 16777215	1 ~ 480 (ワードアドレス)
W	0 ~ 0xFFFFFFFF	1 ~ 480 (ワードアドレス)
TS, TC	0 ~ 16777215	1 ~ 3584 (ビットアドレス)
TN	0 ~ 16777215	1 ~ 480 (ワードアドレス)
SS, SC	0 ~ 16777215	1 ~ 3584 (ビットアドレス)
SN	0 ~ 16777215	1 ~ 480 (ワードアドレス)
CS, CC	0 ~ 16777215	1 ~ 3584 (ビットアドレス)
CN	0 ~ 16777215	1 ~ 480 (ワードアドレス)
SB	0 ~ 0xFFFFFFFF	1 ~ 3584 (ビットアドレス)
SW	0 ~ 0xFFFFFFFF	1 ~ 480 (ワードアドレス)
S	0 ~ 16777215	1 ~ 3584 (ビットアドレス)
DX, DY	0 ~ 0xFFFFFFFF	1 ~ 3584 (ビットアドレス)
R	0 ~ 0xFFFFFFFF	1 ~ 480 (ワードアドレス)



上記のアドレスは通信コマンドで指定できる最大のアドレス範囲を示しています。Poll RecordのAddress設定はこの範囲内で行えますが、実際のアドレスは、ご使用のPLCで指定できる範囲となりますので、その範囲内で設定してください。

MELSEC-A シリーズ (Ver.5.3 MODE 時)

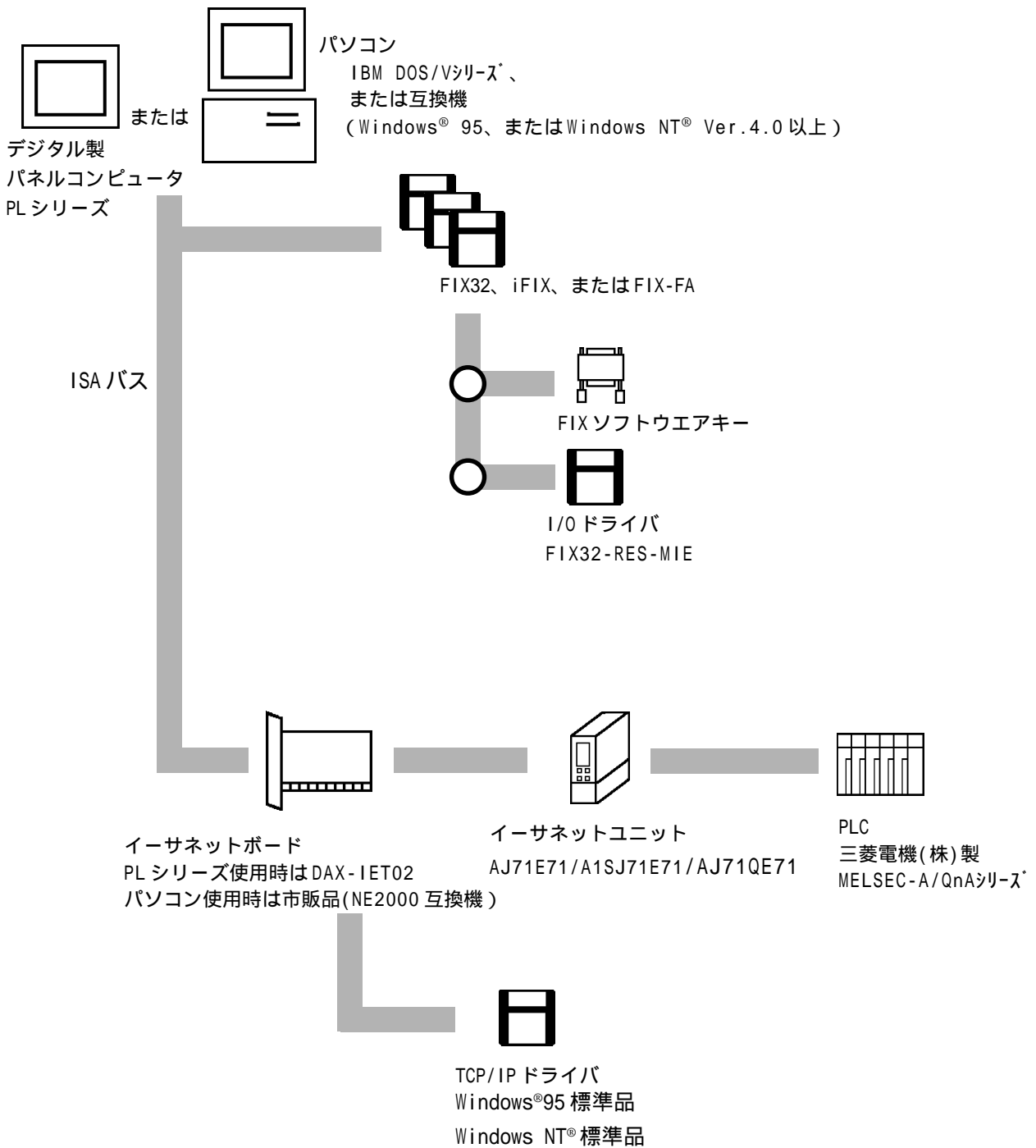
メモリタイプ	アドレス範囲	Poll Record の Length設定範囲
X, Y	0 ~ 0xFFFFFFFF	1 ~ 256ビット
B, L	0 ~ 0xFFFFFFFF	1 ~ 256ビット
W	0 ~ 0xFFFFFFFF	1 ~ 256ワード
M	0 ~ 0xFFFFFFFF	1 ~ 256ビット
F	0 ~ 0xFFFFFFFF	1 ~ 256ビット
TC, TS, CC, CS	0 ~ 0xFFFFFFFF	1 ~ 256ビット
TN, CN	0 ~ 0xFFFFFFFF	1 ~ 256ワード
D	0 ~ 0xFFFFFFFF	1 ~ 256ワード
R	0 ~ 0xFFFFFFFF	1 ~ 256ワード
ER (拡張ファイルレジスタ)	0 ~ 0xFFFFFFFF	1 ~ 256ワード



上記のアドレスは通信コマンドで指定できる最大のアドレス範囲を示しています。Poll RecordのAddress設定はこの範囲内で行えますが、実際のアドレスは、ご使用のPLCで指定できる範囲となりますので、その範囲内で設定してください。
バージョン5.3のドライバでCSVファイルにセーブしてから本ドライバで読み出すと、自動的に本モードとなります。

2 システム構成図

FIX I/O ドライバと関連する周辺機器を示します。 I/O ドライバは、FIX のインストールディスクでインストールされ、FIX 起動時に組み込まれます。
FIX に組み込まれた I/O ドライバは、下図のような位置付けとなります。



2-1 用意する製品

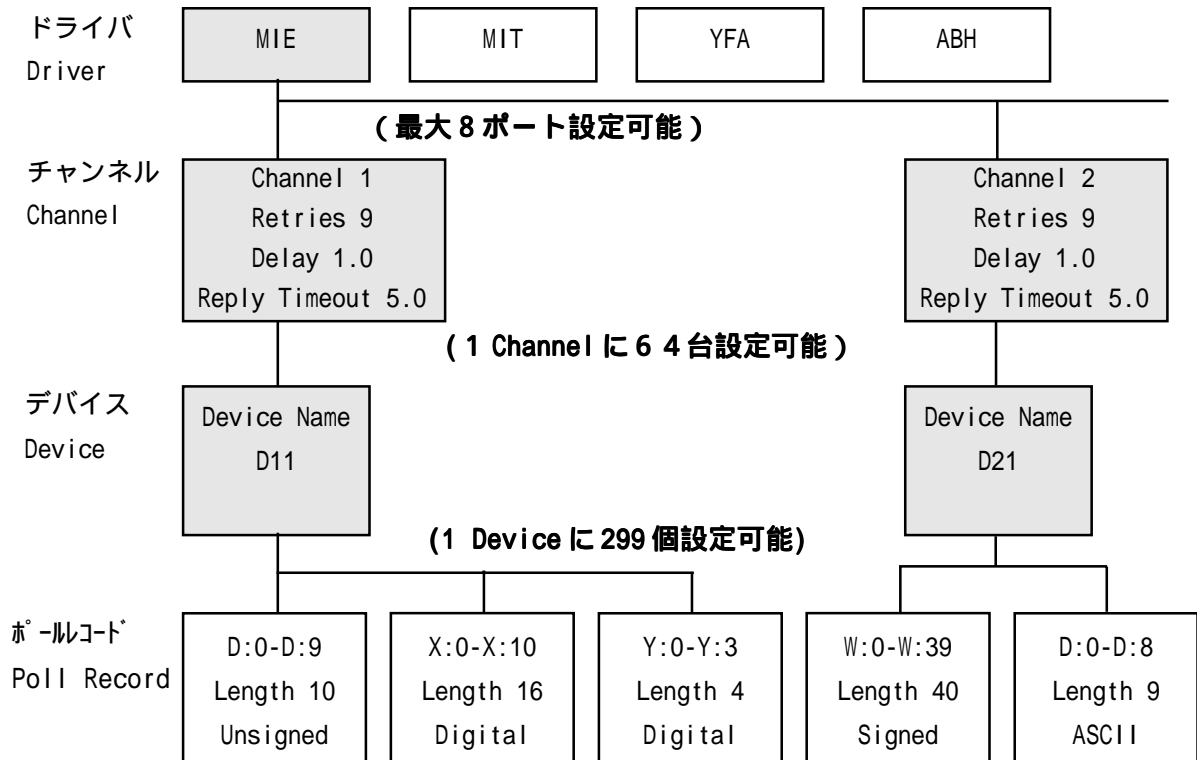
この I/O ドライバを使用するには、以下の製品が必要です。

	名称		Windows [®] 95	Windows NT [®]
パソコン 周辺 機器	PC-AT用 イーサネットボードと そのドライバ	OS標準 サポート	NE2000互換ボード等。 ドライバはOS標準ドライバを使用	
		OS非標準 サポート	Windows [®] 95用ドライバが 添付されているボード。 添付のドライバを使用	Windows NT [®] 用ドライバが 添付されているボード。添 付のドライバを使用
	TCP/IPドライバ		Windows [®] 95標準のTCP/IP ドライバ	Windows NT [®] 標準のTCP/IP ドライバ
PLC 周辺 機器	PLC用イーサネットユニット		AJ71E71/A1SJ71E71/AJ71QE71 (三菱電機株式会社製)	
接 続 機 器	トランシーバ		ネットワークの構成機器はIEEE802.3の規格に合ったものを使用してください。	
	トランシーバケーブル			
	同軸ケーブル			
	同軸ケーブル用ターミネータ			

3 チャンネル・デバイス・ポールレコードの関係

MIEドライバ内部でのチャンネル、デバイス、ポールレコードの関係の設定例を以下に示します。

(最大8本までのドライバが登録可能)



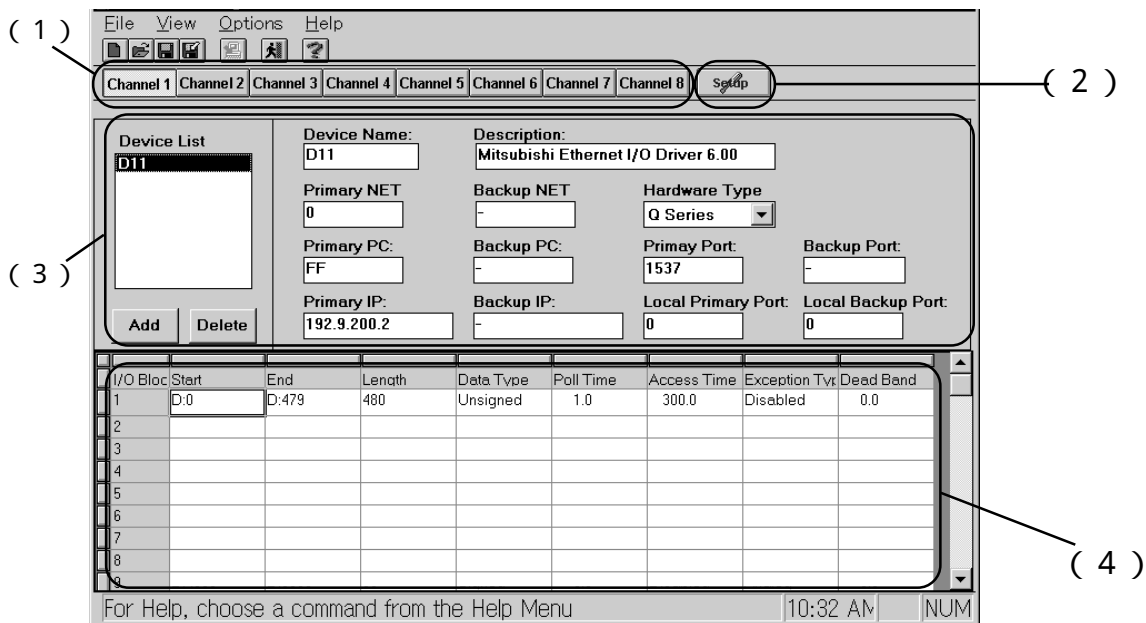
- ・PC No. は三菱イーサネットユニットが設定されているPLCにアクセスする場合は0xFFに固定です。
MELSECNETを経由してローカル局にアクセスする場合はそのローカル局の局番号を設定してください。
- ・ポールレコード (Poll Record) は、PLCごとにどのメモリ・I/Oのどの番地をポーリングするかを設定します。
- ・デバイスは1channelに64台設定可能ですが、MIEドライバ全体で64台以下になるようにしてください。



- ・ポールレコード (Poll Record) は、同じデバイス内でアドレスが重なってはいけません。

4 初期設定

初期画面で設定できる項目について説明します。



(1) チャンネル設定

接続するチャンネルを選択します。

(2) 通信設定 (Communication Setting)

SETUP をクリックすると、現チャンネルの通信設定が行えます。

(3) デバイス設定画面

チャンネルごとにデバイス名・局番号・TCP ポート番号などを設定します。

(4) ポールレコード (Poll Record Edit)

PLC ごとにどのメモリ・I/O のどの番地をポーリングするかの設定と追加、変更などの編集ができます。

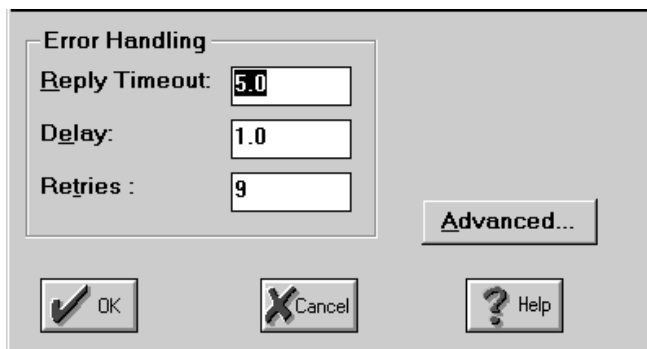


(1)チャンネル設定



- Channel 接続するチャンネル (Channel1 ~ 8) を選択します。(最大 8 台)

(2)通信設定



通信設定画面の詳細について以下に示します。

- Reply Timeout 再送までの時間(秒)が設定できます。(0.1 ~ 1800秒)
- Delay バックアップポートに切り替えて再送までの時間(秒)が設定できます。(0 ~ 3600秒)
- Retries 再送回数が設定できます。(0 ~ 9回)



MEMO ・「I/O ドライバ制御」で通信状態が確認できます。



I/Oドライバ制御

参照 FIX の取扱説明書「システム構成設定」

(3) デバイス設定画面

Device D11 Add Delete	Device Name: D11	Description: 		
	Primary NET 	Backup NET 	Hardware Type A Series	
	Primary PC: FF	Backup PC: -	Primary Port: -	Backup Port: -
	Primary IP: -	Backup IP: -	Local Primary Port: 0	Local Backup Port: 0

デバイス設定画面の詳細について以下に示します。

- Device Name PLCを区別するための名前を指定します。(最大5文字)
- Description コメントを記述します。(最大40文字)
- Primary/Backup NET 他局シーケンサへアクセスするとき、最後に経由するネットワークシステム/データリンクシステムの番号と該当システム上でのアクセス局のネットワーク番号を指定します(MELSEC-QnAシリーズのみ有効)。AJ71QE71と接続する場合は0にしてください。詳細はAJ71QE71インターフェイスユニットユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。
- Primary/Backup PC PLC局番号を指定します。
- Primary/Backup IP PLC IPアドレスを指定します。
- Primary/Backup Port PLC側 TCPポート番号を指定します。
- Local primary/Backup Port パソコン側TCPポート番号を指定します。(PLC側がUnpassiveオープンの場合は指定しなくとも自動的に割り当てることができます。その場合は0を指定してください。)
- Hardware Type PLCのCPU種類を指定してください。
MELSEC-A シリーズ A Series
MELSEC-QnA シリーズ Q Series
V53Mode Ver.5.3 完全互換モード



- プログラム上のHardware TypeやHelpファイルに登録されている"Q Series"は"MELSEC-QnAシリーズ"を指しています。

(4) ポールレコード (Poll Record Edit)

I/O Address		
Start Address:	End Address:	Length:
D:400	D:47F	128
Block Configuration		
Data Type:	Poll Time:	Access Time:
Unsigned	1.0	300.0
Exception		
Exception Type:	Dead Band:	
Disabled	0.	
<input type="checkbox"/> OK	<input type="checkbox"/> Cancel	<input type="checkbox"/> Help

ポールレコード設定画面の詳細について以下に示します。

- Start Address I/Oアドレスの使いたい範囲の先頭を設定します。
- End Address I/Oアドレスの使いたい範囲の終了を設定します。



• Start Address と End Address はメモリタイプ + アドレスで入力しますが、そのさいの区切り文字は、「SP」「,」「.」「:」「;」「_」「-」「/」「¥」が使えます。ただし表示は「:」に統一されます。Start Address を基準にして、End Address と Length は、どちらかが入力されたときに自動算出されます。

- Length "Start Address" から "End Address" までの範囲のデータ長を設定します。
- Data Type Unsigned/Signed/ASCII/Digital のデータ形式から指定します。
 - < Unsigned/Signed > ワードタイプのメモリ (D/TN/CN/W/R/ER) にアナログブロック (AI/AO/AR) でアクセスできます。
 - < ASCII > 同じくワードタイプのメモリにテキストブロック (TX) でアクセスできます。
 - < Digital > ビットタイプのメモリ (X/Y/B/L/M/F/TC/TS/CC/CS) にデジタルブロック (DI/DO/DR) でアクセスできます。

- Poll Time ポールレコードの更新までの時間を設定します。
- Access Time 指定されているポールレコードのポーリング周期を設定します。(0.0 ~ 86400 秒 < 24 時間 >)
- Exception Type エクセプション処理の形式を指定します。(ASCII / Digital/Analog)
- Dead Band "Exception Type" が "Analog" の時のみ有効です。データが前回の値からこのDead Bandで指定した値以上の変化があった場合にデータを通知します。

設定例

チャンネル、デバイス、ポールレコードの設定例を示します。

(1). チャンネルの設定 (Channel Setup)

- Reply Timeout 5.0 (単位 : 秒)
- Delay 1.0 (単位 : 秒)
- Retries 9 (単位 : 回)

(2). デバイス (Device) の設定

- Device Name D11
- Primary PC FF
- Description PLC1 System Poll Record Data (任意のコメント内容)
- Primary IP 192.9.200.2 PLC側イーサネットユニットに割り当てたIPアドレス
- Primary Port 1537 PLC側イーサネットユニットに割り当てたTCPポート番号
- Local Primary port 0 自局のTCPポート番号。自動割り当てで0を指定。Backup IP、Backup PC、Backup Port、Local Backup Port、Backup Net は、PLCの二重化をする場合に設定します。
- Hardware Type Q Series ("MELSEC-QnA シリーズ" を指しています。)
- Primary Net 00

(3). Poll Record の設定

- Start Address D:0
- End Address D:FF
- Length 256 (単位 : ワード)
- Data Type Unsigned (符号なしワードデータ)
- Poll Time 0.1 (100ms 周期) (単位 : 秒)
- Access Time 300.0 (300s 間アクセスが無い場合にポーリング一時停止:Exceptionを設定した場合はDisableになる) (単位 : 秒)
- Exception Type Analog (アナログデータのエクセプション処理を行う)
- Dead Band 5.5 (データが前回の値より5.5変化した場合にデータ通知する)

4-1 タグの定義

初期設定が終わったら、以下の項目を設定し、タグを定義してください。

- ・装置 このドライバの名称 (MIE) を入力します。
- ・I/O アドレス デバイス : メモリタイプを入力します。



「データベースビルダ」内に「アナログ入力ブロック」の設定があります。詳しくは参照 FIXの取扱説明書

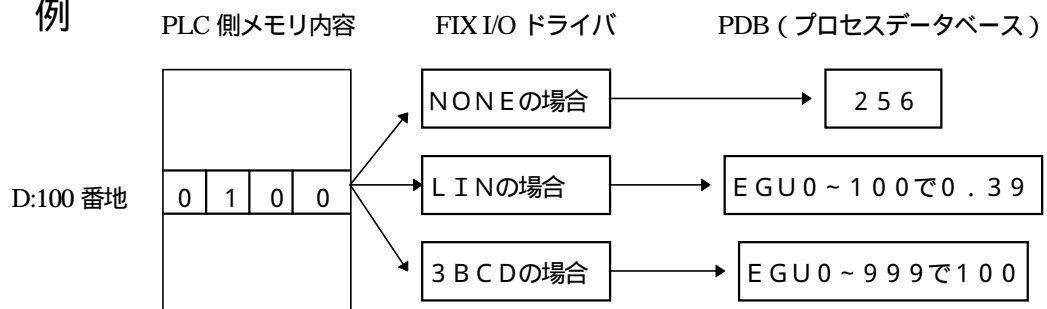
4-2 シグナルコンディション

サポートするシグナルコンディションは以下のとおりです。

種類	機能	範囲外アラーム
NONE	スケーリングをしません。	なし
LIN	EGU設定値にスケーリングします。	なし
3BCD	3桁2進化10進数に変換します。	あり
4BCD	4桁2進化10進数に変換します。	あり
8BM	8ビットバイナリデータをEGU設定値にスケーリングします。	なし
8AL	8ビットバイナリデータをEGU設定値にスケーリングします。	あり
12BN	12ビットバイナリデータをEGU設定値にスケーリングします。	なし
12AL	12ビットバイナリデータをEGU設定値にスケーリングします。	あり
15BN	15ビットバイナリデータをEGU設定値にスケーリングします。	なし
15AL	15ビットバイナリデータをEGU設定値にスケーリングします。	あり
SQ12	12ビットデータを平方根データに変換します。	あり
SQ15	15ビットデータを平方根データに変換します。	あり

上記のシグナルコンディションで主に3つのシグナルコンディション"NONE", "LIN", "3BCD"の変換例について以下に説明します。

例



「データベースビルダ」内に「シグナルコンディション」の設定があります。詳しくは参照 [FIX](#) の取扱説明書

4-3 通信仕様

(1) 通信仕様

このI/Oドライバで使用できるコマンドはデバイス設定画面で設定したHardware Typeによって仕様が異なります。

A Series / V53 Mode

種別	機能		コマンド	デバイス	通信最大長
デバイスメモリ	一括読み出し	ビット単位	0x00	X, Y, B, L, M, F, TC, TS, CC, CS,	256点
		ワード単位	0x01	TN, CN, D, W, R	256点
	一括書き込み	ビット単位	0x02	X, Y, B, L, M, F, TC, TS, CC, CS	256点
		ワード単位	0x03	TN, CN, D, W, R	256点
拡張ファイルレジスタ	一括読み出し		0x17	拡張ファイルレジスタER	256点
	一括書き込み		0x18	拡張ファイルレジスタER	256点

Q Series

種別	機能		コマンド	デバイス	通信最大長
デバイスメモリ	一括読み出し	ビット単位	0401	SM, SD, X, Y, M, LF, V, B, TS, TC, SS, SC, CS, CC, SB, S, DX, DY	3584点
		ワード単位	0401	D, W, TN, SN, CN, SW, R	480点
	一括書き込み	ビット単位	1401	SM, SD, X, Y, M, LF, V, B, TS, TC, SS, SC, CS, CC, SB, S, DX, DY	3584点
		ワード単位	1401	D, W, TN, SN, CN, SW, R	480点

各コマンドの通信フォーマットについてはイーサネットユニットのマニュアルを参照してください。



- ・ プログラム上のHardware TypeやHelpファイルに登録されている"Q Series"は"MELSEC-QnAシリーズ"を指しています。

5

異常処理

異常が発生したときは、FIXのアラーム履歴に出力します。

(1). 通信異常

通信タイムアウトやコネクションクローズ、アボート、確立失敗などの情報を出力します。

(2). データ収集周期異常

設定された時間内にデータを収集できなかった場合、警告を出力します。

(3). バックアップPLCのサポート

バックアップPLCが設定されていれば、PLCを切り替えます。

(4). コネクション切断異常

イーサネットユニットとのコネクション確立後に、データの送信を行っても無応答で数回の再送を繰り返しても応答が無い場合に、WINSOCKレベルでコネクション切断を行いドライバで再度コネクションの確立を行います。

5-1

トラブルシューティング

(Q 1). インストールしたが、動作しない

(A 1). 以下の項目をご確認ください。

< イーサネットボードは正しく装着されていますか? >

イーサネットボードに付属されている自己診断プログラムを起動してください。I/Oアドレス、割り込みの値が、ほかの拡張カードと重なっていないか確認してください。自己診断プログラムのループバックテストで回線に問題がないか確認してください。

< TCP/IPのドライバは正しくインストールされていますか? >

TCP/IPドライバに付属しているPINGコマンドを使用して三菱イーサネットユニットと通信が行えるか確認してください。

< FIX I/Oドライバ(MIE)のDID ProgramでPrimary IP、Primary Port、Primary PC、Local Primary Portは正しく設定していますか? >

Primary IPは三菱イーサネットユニットにラダープログラムで設定したIPアドレス(バッファメモリのアドレス0,1)と同じ値を設定してください。DID Programでは10進数のドット記法で入力/表記します。ラダープログラムでは16進数で入力しますので値が同じであるかの確認は注意してください。

例：ラダープログラム

0xC0 09 C9 02

DID Program (ドット記法)

192 . 9 . 201 . 2

Primary Port は三菱イーサネットユニットにラダープログラムで10進数指定(K)で設定した値と同じ値を設定してください。FIX I/O ドライバ(MIE)のDID Program では10進数で入力/表記します。

Primary PC は三菱イーサネットユニットが装着されているPLCと通信を行う場合は0xFFにしてください。MELSECNET に接続されているローカル局と通信を行う場合はそのローカル局の局番号を設定してください。

Local Primary Port は三菱イーサネットユニットのオープン要求がUnpassiveの場合、他ノードポート番号 で設定した値と同じ値を設定してください。

(Q 2). Poll Record の内容を変更するとエラーになる

(A 2). 一度そのPoll Record の length を0にしてください。Start Address、End Address が " ---Undefined--- " になります。この状態から変更を行ってください。

(Q 3). Poll Record を削除する方法がわからない

(A 3). 削除したいPoll Record の length を0にしてください。Start Address、End Address が " ---Undefined--- " になります。この状態で "OK" ボタンをクリックしてください。削除されます。

